

第8回

病院経営トップならびに経営幹部の皆さまへ

令和6年度診療報酬改定 と戦略的病院経営の道程

2024年

1月20日 土 13:00-16:00

ZOOMによる無料講演

第1部

13:00~14:50

「2024年 コロナから日常医療へ 戦略的病院経営の道標」

講師 井上 貴裕 先生 (医学博士)
千葉大学医学部附属病院 副院長
特任教授・病院経営管理学研究センター長



第2部

15:00~15:30

「医業未収金の発生を予防する仕組みづくり と医事職員・MSWの奮闘事例紹介」

講師 小野寺 勇史郎
株式会社エキスパートナーズ代表
医業未収金発生予防コンサルタント/中小企業診断士/税理士



15:30~16:00

「医業未収金回収の労力を減らす！ 医事課の 未収金回収システムの活用事例のご紹介」

講師 谷川 真悟
株式会社みらい道 代表



ご予約は「QRコード」
申込フォーム入力



お問い合わせ

株式会社エキスパートナーズ
090-1776-3054 (小野寺)
<https://expertners.co.jp/seminar/>

コロナを言い訳にし過ぎず、できることから着実に

2020年2月3日、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」が横浜に入港し、ここからコロナとの戦いがはじまった。患者が各地に搬送され、未知の感染症に対して医療機関、そしてそこで働く職員達も恐怖と不安を強く感じた。それに先立って、国は1月28日に新型コロナウイルスを指定感染症とすることを閣議決定し、罹患した患者は病院で療養することになった(現状では自宅療養が中心となり、当初とは状況が大きく変わった)。

社会に目を向けるとテレワークが推奨され、東京ディズニーリゾートなどのレジャー施設等も休業が相次いだ中で、4月7日、東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県を対象に史上初の緊急事態宣言が発令された。このような中でも病院は24時間365日の体制で未知の感染症と戦うと同時に、通常診療の機能を医療者のモラルを盾に必死に維持した。

ただ、病院の現実を目を向けると2020年4月・5月の医業損益は過去最悪であり前年度よりも15ポイント程度悪化し厳しいものであった。特に5月は予定手術を大幅に制限せざるを得ない状況であり、紹介患者もこなかった。一方で9月にはようやく前年度の業績を上回ったが、その後、第3波が襲来し再びマイナスに転じた。2020年度は歴史に名を残す状況となったが、空床確保の補助金が投入されコロナバブルに踊る医療機関が出てきたのも事実である。

その後、2021年度はその前年よりは患者数が戻ってきたものの医業損益ベースではいまだコロナショックから抜け切れず、厳しい状況が続いた。ただ、コロナ補助金について2020年度よりも多額に受け取った病院が多く、最終的な決算はかつてない状況というケースもあった。とはいえ、財源には制約があり、いつまでもこの状況が続くわけではないことに我々は留意しなければならない。

コロナが収束しない中で、先のことなど考えていられないという医療スタッフも多い。まずは目の前の緊急事態にどう対応するか、日夜対応に苦慮しているのが現実ではある。ただ、目線を変えれば、コロナを言い訳にし過ぎるのはよくないと私は考えている。もちろんコロナ医療と一般医療を両立することは困難極まり、やれること、やれないことは存在する。ただ、できることも存在するわけで、それを着実に実行していくことが期待される。今ここで歯を食いしばって頑張ったかどうか、今後の成否を分けると感じている。

医療機関の機能によって何ができるのかは異なるだろうが、医療提供の本質はコロナがあろうとなかろうと変わらない。自戒の念を込めて、今一度、病院経営を考えるべき時であると考えます。できることから1つ1つ着手していかなければならない。

ZOOM講演会ご視聴方法

- Web講演会はインターネットを介して講演が配信されますので、インターネットが使用できるPC、タブレットまたはスマートフォンをご用意ください。
- モバイルルーターやスマートフォンでの視聴は電波状況や回線速度などの影響を受け、動画や音声途切れる可能性がありますことを、予めご了承ください。
- PC環境により、機能が制限される可能性がある為、原則Zoomアプリでのご参加をお願い申し上げます。

コロナから日常医療へ

戦略的
病院経営
の道標

～この難局をどう乗り越えるか～

著者 井土 貴裕

コロナを言い訳にせず、
できることから着実に!!

定価：本体4,500円＋税

2023年5月10日 初版